

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		口腔ケア連携推進				所管	健康部	
							健康課	
事務事業の概要	行政計画	あり	事業NO.	140	計画事業名	口腔ケア連携推進		
	長期総合計画体系	[基本目標] Ⅲ-1. 健康づくりと、自立生活を支える基盤づくり					事業の開始・終了年度	
		[小 柱] (2)地域医療の充実					[事業開始]	平成 2 1 年度
		[施 策] ① 地域医療体制の整備[51]					[終了予定]	- 年度
	根拠法令等	要綱	[法令等名]	口腔ケア連携推進事業実施要綱・台東区歯科保健医療連携推進協議会設置要綱				
	事業対象	区民・介護事業者・医療関係者						
	事業目的	区民が身近な地域で歯と口腔の健康づくりに取り組めるよう、歯と口腔に関する各種相談、調整や介護、医療などの一層の連携を行うことで、かかりつけ歯科医の定着促進、口腔機能向上を図り、区民の健康を維持する。						
事業内容	<p>区民が身近な地域で歯と口腔の健康づくりに取り組めるよう、次の事業に取り組む。</p> <p>(1)三ノ輪口腔ケアセンターにおける歯と口腔に関する相談業務、関係機関との調整業務</p> <p>(2)三ノ輪口腔ケアセンターや施設、在宅における口腔ケア指導、検査等実施に関するマネジメント業務</p> <p>(3)口腔ケアに関する普及啓発</p> <p>(4)事業に関わる歯科従事者の育成</p> <p>(5)事業に関する評価検証</p>							
委託の有無	一部委託	委託内容	歯と口腔に関する相談、関係機関との連携及び調整、口腔ケアに関するマネジメント、普及啓発、歯科従事者に対する専門知識の習得、育成					
補助金の有無	都							
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度	
	活動指標	講演会・研修会等開催数	(回)	4	4	4	4	
		施設訪問・在宅訪問介入箇所	(箇所)	90	107	50	24	
	成果指標	講演会・研修会等参加者数	(人)	120	107	101	86	
		施設訪問・在宅訪問介入者延数	(人)	3,300	3,476	3,071	3,586	
	決算額	(単位：千円)			12,101	11,757	11,689	
	事務事業コスト	人にかかるコスト(人件費など)			4,500	3,332	4,261	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			12,045	11,694	11,625	
		(単位：千円) その他のコスト(扶助費・補助費など)			56	64	64	
		総経費			16,601	15,090	15,950	
財源項目	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0		
	(単位：千円) その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			10,000	5,288	5,232		
	一般財源(区負担額)			6,601	9,802	10,718		
前年度から改善した事項	区在宅療養連携推進協議会に三ノ輪口腔ケアセンターで活動する歯科衛生士が委員として参加、また介護事業者等への同センターについてのPRを行った。							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	3	高齢者人口の増加に伴い、介護の必要な方が増加することが見込まれる中で、口腔ケア、摂食嚥下に対する指導や普及啓発の必要性は高い。					
	効率性	3	本事業の実施には、歯や口腔に関する専門的知識を持った歯科衛生士による相談対応、また必要に応じて歯科医師による指導などを要するため、現在の実施体制が最も効率的である。					
	手段の適切性	3	事業を進めるうえで、歯科衛生士の安定的な確保や歯科医師との連携が重要であるため、運営の委託を歯科医師会とする方法は適切である。					
	目的達成度	2	講演会、研修会の参加者拡充に向けて、各種イベントに合わせて開催するなどの検討が必要である。					
[評価の理由](区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性	
在宅で療養されている方の口腔ケアは、医療の対応に比べ後回しにされることが多く、不十分な方が多いとされている。今後高齢者人口の増加に伴い、在宅で療養される方はさらに増える見込まれており、疾病の予防のためにも口腔ケアの必要性はますます高まると考えられる。歯科医師会をはじめ関係機関と連携して、在宅高齢者に対する口腔ケアの普及を推進し、区民の健康の維持向上を図っていく。							維持	
							拡大改善 維持 縮小 廃止・終了	